



浅小HP
QRコード

あさなしい

令和4年1月26日（水）No.3 1 文責：校長 矢田部瑞穂

大雪お見舞い申し上げます



放課後も雪かきをする5・6年生

能代市では16年ぶりに豪雪対策本部を設置したと報道されました。各ご家庭でも大変な毎日をお過ごしのこととお見舞い申し上げます。本校もご多分に漏れず大雪に悩まされる毎日です。それでも本校には頼りになる子どもたちがいます！6年生は7時30分頃から駐車場の除雪を率先して行い、最近夕方もお迎えの時間まで自主的に行います。先週の木曜日からは5年生も除雪作業に加わり、本校児童には学校を思う気骨があることを感じます。これまでも除雪お手伝いには「伝統」がありました。よき「伝統」は人を育てます。自慢の「伝統」です。

春から秋、植物や昆虫が子どもたちを楽しませてくれた裏山。冬は「雪山」と化し、遊び心に火を付けます。今シーズンの豪雪は、ソリ遊びに止まらず雪ベッドや雪ケーキなど、子どもたちの創造性をかき立てます。わずか15分程度の休み時間ですが、子どもたちの笑い声はダイヤモンドダストのように雪山に広がり、大満足して教室に戻ります。今週末に予定されていた5・6年生のスキー教室を中止しました。コロナの状況から苦渋の決断でした。それでもコロナ禍でもできることを見つけ、雪国に生まれた子どもだからできることを経験させてあげたいと強く思います。



短い休み時間も「雪山」を満喫！



5年 KI



5年 IS

5年 HD

浅小プライド「挑戦」

上記に紹介した雪山遊びに参戦する5年男子3人！3人は低学年の子どもたちの無邪気な遊び方とはひと味違う。◆KIさんは、みんながスキーズボン等に替えている間に先に外に出て、雪山までの長い道のりを低学年の子どもたちが歩きやすいように道をつくってあげている。◆ISさんは、低学年の子どもたちが興奮して周囲に気を配ることを忘れてしまう時、「屋根の雪に気をつけろ！」と声かけをしてくれる。◆HDさんは、雪の状況でソリの滑りが悪い時、「押すよ！」と声をかけてそっと後ろから押してあげている。※私は外遊びの子どもたちを見ることが多いが、体育館で遊んでいる子どもたちも同じ。本校の高学年の子どもたちは、下の学年の子どもたちをととてもかわいがってくれる。子どもたちの温かい交流を見ているのが好きだ。

学びを止めない

文部科学省からのメッセージに「学びを止めない」という言葉があります。疫病や地震等の災害が発生した際に、長期間にわたって児童生徒が学習する機会を失う事態に備えておく必要があることを示唆しています。主に、ICTの活用をメッセージの主軸としているのですが、本校では、「学びを止めない」ために何ができるのか、また、通常通りの学びができるときに、子どもたちが学ぶ喜びを感じることができるような授業の工夫を目指すという志をもって学校経営に当たっております。例えば、児童の感染対策の徹底はもちろん、昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、浅内小独自に「浅内小BCP（Business Continuity Plan）事業継続計画」※教職員が感染症等により休まざるを得なくなったときに、どう動くかの詳細※を立てるなどして、子どもたちの学びを止めないために何ができるのか、知恵を出し合っています。

制限されることが多く苦しい時期ではありますが、どうぞご家庭でもこれまで同様、感染対策に努めてくださるようお願いいたします。そして、誰にでも起こりうることを柔軟に受け止め、子どもたちだけでなくご家族の皆様方でも、体調に違和感があるときは躊躇することなくすぐに学校にお知らせくださるようお願いいたします。



6年 TJ

習字の筆を縦横無尽に走らせるJさん。初めての水墨画。「歴史の学習をした時に『水墨画』という言葉に出会った。自分で挑戦してみると、墨で絵を描くことに不思議な感覚を覚えた」と。何事も経験。経験は宝。



4年 IS

真剣に水の温度変化を指す温度計に注目するSさん。実験後「水蒸気という言葉を知った」と目を輝かせて語る。生活に役立つ理科の授業が大好きだと言う。4年生全員が、興味関心100%の実験風景を目撃した。

【6年図工：水墨画に挑戦！】

【4年理科：温度変化の観察に挑戦！】



3年 SS

「音楽が大好き！」と言うSさんに理由を聞くと「できなかつたことが繰り返し練習するうちに上手になっていくのが嬉しいし、みんなで合わせる気持ちがいい！」と。体中から喜びが溢れるように音楽の楽しさを語ってくれた。



5年 MR

ビー玉のコロがるくんが旅をする作品作り。様々な材料を使って「旅路」製作。ビッグサイズで仕上げたRさん。「工夫したのは、通路の下に通路を重ねて作る」と話していた。職人の表情で黙々と作品作りに励む姿が印象的だ。

【3年音楽：ミッキーマウスマーチに挑戦！】

【5年図工：コロがるくんの旅に挑戦！】

浅小っ子はみんなに愛されている!

最近雪かきに専念して登校のお迎えに行っていなかった。1月25日、久しぶりに下まで行ってみると、ちょうどIKさんがバスから降りるところに出会った。なんと！秋北バスさんは、バス停のあたりがあまりの雪で歩きにくいため、子どもたちが歩きやすくなる所で降ろしてくれる。その瞬間を見た！Kさんに聞いたら本当に助かっていると。あまりの感激に秋北バスさんに電話してお礼を言うと、「むしろ、バス停のあたりを歩きにくくして申し訳ない」との返答。その謙虚さと、浅小っ子はみんなに愛されている感謝で、とても温かい気持ちになった。

